



学校だより

令和8年4月8日
横浜市立太田小学校
4月号

はる はじ 春の始まりに

こう ちよう さ さき けい こ
校長 佐々木 慶子

この春休みは気候が目まぐるしく、気温の変化が大きい日々が続きました。2月に戻ったかのような寒い日もあれば、初夏を思わせる暑い日もありました。例年より早く咲き始めた桜は、何とか始業式、入学式までピンク色の花を保ち、子どもたちの入学や進級をお祝いしてくれているようでした。

今年の始業式では、「教室はまちがうところだ」という詩を紹介しました。私は小学4年生のときにこの詩と出会いました。小学3年生までの私は恥ずかしがり屋で、教室で手を挙げて発言することなど、とてもできない子どもでした。しかし、この詩を読んだときの雷に打たれたような衝撃は、今も深く心に残っています。始めから正しい答えが分かっているのであれば、教室で学ぶ必要はありません。たとえ答えが一つであっても、そこにたどり着く道筋は一つとは限りません。場合によっては、考え方や答えがいくつもあることもあります。教室では、みんなの考えを出し合い、語り合う中で、よりよい考えややり方を見つけていけばよいのです。この「教室」を「学校」に置き換えると「学校はまちがうところだ」となります。太田小学校も、子どもたちが安心してまちがうことができ、安心してチャレンジすることができる学校をめざしてまいります。

今年度も、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教室はまちがうところだ (一部紹介)

まきた しんじ

教室はまちがうところだ

みんなどしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか
まちがうことを おそれちゃいけない
まちがったものを わらっちゃいけない

まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃないか こうじゃないかと
みんなで出し合い 言い合うなかで
ほんとのものを 見つけていくのだ
そうしてみんなで 伸びていくのだ